

「3人分で1万8千円…キツイ！」

小児インフルエンザ ワクチン接種の補助創設を

「なんともならぬ？」 「予防接種とせられぬ！」

3月15日、閉会したH31年度流山第1回定例会。小田桐たかし市議は保護者の声を取り上げました。

「毎年のようにインフルエンザが流行する中で、ワクチン助成を求める声が相次いで寄せられます。」

3人お子さんがいるあるご家庭では、「1人2回接種、1回3千円のワクチンを子どもは2回注射させるので、一人合計6千円。総額1万8千円の一方で、インフルになれば窓口負担200円：家庭の経済事業を優先してしまおう」とのため息もお聞きます。

しかもワクチン接種で1年間防止できるかと言えばそうではなく、ワクチンが効かないケースや感染する中で新しい型のインフルエンザが流行し、2度かかるケースもあります。

そこで、全国各地の自治体では小児へのインフルエンザワクチン接種助成を始めていますが、本市も取り組むべきと考えますがどうか答弁を求めます。」

「県内一部自治体で実施」と認める

市答弁では、県内一部市町村で実施している事例があると認識を示すも、ワクチン接種の有効性などから『任意』接種となっているインフルエンザワクチンの予防接種の補助創設は「現在のところ考えていない」としました。

PR広告で10年間6800万円の一方で、ワクチン補助400万円は…

我孫子市同様に一部補助をした場合にかかる予算は400万円程度と市独自試算を発表。

一方で、「母になるなら…」などとないうる巨大PR広告は10年間で6800万円を支出。現実とのかい離が拡大しています。都内や茨城県内でも制度創設が広がっており、世論と運動を一緒に広げ、創設を迫りましょう。

はしか予防補助打ち切りへ

妊婦感染による被害防止のため、日本産婦人科医学会が「注意喚起」を行っているのに、はしか感染予防のワクチン補助を流山市はH31年度打ち切りしました。

「母になるなら…」は『偽り』PR広告となり、はしか予防にむけたワクチン接種補助の経費は、市内の観光冊子増刷分の経費があればできる仕事です。お腹にいる赤ちゃんに観光冊子：優先順位がデータラメです（怒）



日本共産党市議会議員

小田桐たかし

安全
確保

TX 8両化は会社の責任

混雑
緩和

事業認可時「8両化」を約束

今年2月、「混雑率300%」と
つくばエクスプレス（TX）について
新聞報道がされました。その混雑
場での過重も高まりついでいます。

通勤時間帯における車両トラ
ブルや遅延が日常化し、「放置
すればいずれ重大事故が起きる」
とも懸念されています。

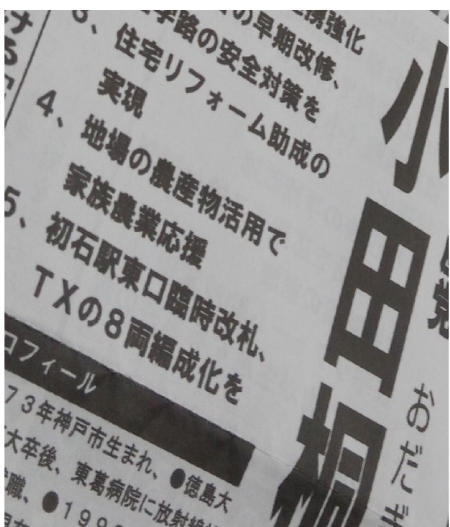
歴史経過から、鉄道事業に認
可時に8両化を約束し、開業時
期を5年間（2000年↓05
年）延期した際も、開業後10年
後に8両化を目指す方向性も示
していました。

8両化は、TXを運営する首
都圏新都市鉄道株（第3セクター）
の約束事であり、責任です。ま
た利用者増加に合わせた計画的
職員増員で、安全性の担保も欠
かせません。実現に向け、世論
と運動を広げましょう。



4年前の市議選公報には、「TX
8両編成化を」と明記したのは小田
桐議員のみ。いまや県議会での質問
（流山選出の自民党県議）や沿線自
治体による要望活動など変化も。

TX沿線では「混雑緩和」「8両
化」が明記された決議案を議会運営
委員会が提案し、採択されれば流山
市議会が初めてとなります。



2015年4月流山市議選の公報

通学定期割引率…最下位（私鉄15社）

「通学用の定期代が高すぎる！」
との声が寄せられています。

通学定期券の割引率は、大手民鉄
15社中、TXが最下位という結果を
受け、沿線7市2区が要望書を提出。

以前、日本共産党の市議会での質
問医「高くないから、要望しない」
と答弁を繰り返してきた市の姿勢も
変わってたことが、今議会わかりま
した。